

(四) 大川・築城石(角石)  
町文化財 昭和五十五年七月指定

大川では、「ぼなき石」を切り出した安芸国広島藩  
だけでなく、尾張国名古屋藩や筑後国柳川藩など、  
多くの藩が江戸城の築城石を切り出したことがわか  
っています。

大川の谷戸山には、「ぼなき石」のような江戸城石  
垣の角に積まれた角石や、運び出されなかった石な  
どがたくさん残されています。

また、楠郷山の南斜面には、④の刻印が彫られた  
築城石が残されており、「大川の大角石」として、町  
文化財に指定されています。

この大角石は、伊豆東海岸に残された中では最大  
級のもので、長さは三・一三メートルと「ぼなき石」  
の約一・六倍の大きさです。刻印から、九州の日向  
国延岡藩の有馬左衛門直純が慶長年間に切り出し  
たものと思われる。

